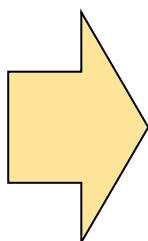
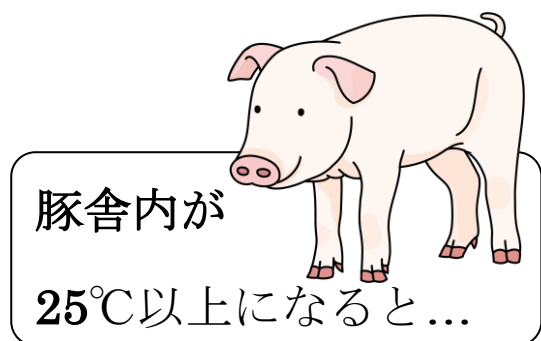


家畜衛生だより

令和7年5月発行 No.11
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235 (68) 2151
FAX 0235 (66) 2466

暑熱対策について（豚編）



繁殖成績・生産性
低下の原因に！

気象庁の直近3か予報（5～7月）では、今年も平均気温は高い見込みとなっています。

暑熱対策は、畜舎環境と飼養管理の両面からの対策が効果的です。夏場対策の重要性を今一度考え、夏がくる前から早めに実行しましょう！

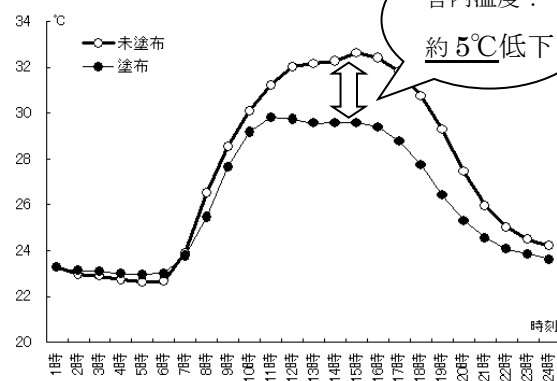
《畜舎環境面の対策》

○遮光、遮熱

- ・つる性植物によるグリーンカーテン、遮光ネット、ひさし等の利用
- ・屋根、壁、床等への断熱材の設置
- ・屋根・飼料タンク等への遮熱塗料、ドロマイト石灰の塗布
- ・豚舎周囲への消毒を兼ねた消石灰の散布



グリーンカーテンの実施例



※温度は3日間の平均

○換気、送風

窓の開放、換気扇や送風機の稼働、畜舎周囲の除草を行い、風のとおり良くする

- ・特に種豚は熱中症にかかりやすいため涼しい環境を整える
- ・哺乳豚・離乳豚には直接風を当てない

ドロマイト石灰塗布による屋根裏温度の推移
県農業総合研究センター養豚研究所 研究報告より

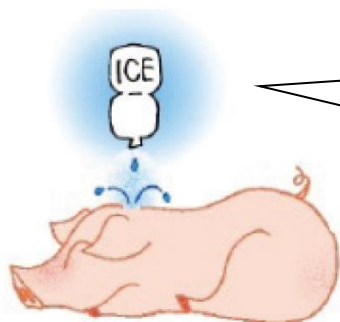
- ・水で濡らした場所に送風する（豚房全体へは当てない）

裏面へ⇒

○冷却

- ・屋根や畜舎周辺に散水する
- ・細霧発生装置を利用し、気化熱と送風で温度を下げる
- ・ドリップ滴下により体感温度を下げる

〔 繁殖豚：首元から首筋に当たる位置
肥育豚：排泄場所近くに落とす 〕



ペットボトルに水を入れて凍らせたペットボトルクーラーを利用すると、低コストで実施できます。
なお、畜舎内の湿度が高くなり過ぎないように、畜舎内の散水は日中だけにしましょう。

《飼養管理面の対策》

- 新鮮な水を十分に飲めるようにする
 - ・授乳中の母豚は1日当たり20リットル程度の水を飲み、夏場はその2-3倍以上の飲水量が必要です。
 - ・分娩舎での給水器からの水量は2リットル／分（15秒で500ml ペットボトル1本分）が必要とされています。
 - ・十分な水量がでているか給水器の水量を点検、清掃しましょう。
- 密飼を避ける
- 涼しい時間帯に飼料を給与し、給与回数を増やす
- 塩分、ビタミン、ミネラル(セレン、亜鉛)の補給
- 飼料の品質劣化に注意する
- 交配は涼しい時間帯に実施し、雄豚の負担を減らすため、交配頻度は週1～2回にする

暑熱ストレスの影響は秋以降の生産性低下にもつながります。
早めに対策を実施し、生産性の低下を最小限に抑えましょう！

**暑熱対策のご相談やドロマイト石灰塗布用動力噴霧機
についてのお問い合わせは、庄内家畜保健衛生所まで**

電話番号 0235-68-2151